

活動分野	地域部会（南総部会）		
タイトル	清和県民の森イベント「鑑賞炭づくり」		
実施日時	平成29年2月18日（土）10時～14時		
実施場所	君津市清和県民の森		
受講者	8組11名	FIC会員他スタッフ	7名

### 活動の内容 冬の定番企画「鑑賞炭づくり」

冬の暖かい定番企画「鑑賞炭づくり」。清和県民の森のデイキャンプ場のカマドを使った、手軽な鑑賞炭づくりです。鑑賞炭にしたい材料を持参したリピーターの方もおられ、最初から和気あいの雰囲気です。

主催者挨拶、作り方の説明と注意の後、鑑賞炭の材料集めもかねて会場付近を散策。クリのイガや椿の花など、何でも鑑賞炭にできますが、缶への詰め方、焼き方に一工夫



が必要です。松ぼっくりやハスの実など、乾燥して堅いもの、小さいものは、比較的、短時間で焼き上がります。一方、生の物は時間がかかります。同じ缶には、同じような焼き時間の物を詰めるのがポイント。

参加者は、各自一つのカマドを使い、薪に火をつけることから焼き上がりまで行います。リピーターのお母さんと男の子も、手際よく火をつけています。カマドに火が入ると、火の暖

かさで寒さもなんのその、火の様子、煙の様子など、話が弾みます。

焼きのポイントは、缶に炎がまわるくらいの強い火力。最初は水蒸気の白い煙が缶の隙間から上がります。やがて煙が青から透明に近くなったら出来上がりです。早いもので20分～30分、煙がほとんど出なくなったら、カマドから缶をおろして焼き具合の確認をします。缶が熱いので、冷めるまでしばらく置いたのち、FICの担当者が缶を開けてみんなで確認。焼き上がっていたら、そのまま蓋を閉めたまま、完全に冷めるまで置いておきます。ちなみに、生物は1時間くらいかかるものもあります。去年好評だった焼き芋、今年も同時進行で焼きます。



ここまでが午前の部。お昼は、清和県民の森の定番ズイキのお味噌汁で、暖かい昼食です。

午後の部では、完全に冷めてから缶の蓋を開けて焼きあがりを確認し、用意した籠に飾りつけました。みんなで作品の発表会。松ぼっくりやクリのイガなど定番のほか、梅の花や、椿の花、折り紙の鶴、木のかげら、竹、野菜のシメジなどなど。自分だけの作品ができました。

「いい雰囲気、楽しく鑑賞炭作りができました。焼き芋・ズイキの汁もおいしかった。」「初めての参加ですが、自分では納得しました。」「出来上がりに満足。」「焚き火が楽しかった。」等 全員の方から、十分満足のアンケート結果。

参加者のみなさま、ありがとうございました。

